



清 泉

令和7年2月28日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

「挑戦・分析」

副校長 加藤 崇博

「挑戦」と聞くとどんなイメージをもつでしょうか。「楽しみ」というプラスの考えや「大変なこと」「困難なこと」というマイナスの考えをもつ方もいるかもしれません。何かに「挑戦した」際には、「成功」「失敗」という結果がついてきます。どちらの結果であっても行う事があります。それは、「分析」です。「成功」にしても「失敗」にしても、なぜ、このような結果になったのかをふりかえり、次に向け、どのような行動をとれば良いかを考えます。これらの体験をとおして、考える事が成長につながっていきます。

ここで清泉中学校の取組の一部を紹介します。保健委員会では、生徒が動画を作成し感染症予防について呼びかけをおこないました。整備委員会では事前に生徒に美化に関するアンケートをとり、クイズ形式で呼びかけをおこないました。この活動は有意義なものでした。この活動は、委員会として、初めての試みでもあり、十分な準備を行ってきました。今後は、結果を踏まえ、分析を行い、次への委員会活動につなげていきます。生徒会は3月22日（土）に実施する清泉祭を企画し、準備を進めています。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、是非ご覧いただけたらと思います。ご来校をお待ちしております。

<3月の予定>

2日（日）～3日（月） 7組移動教室

*7組1・2年生は4日が振替休業日となります。

5日（水）常任委員会 ※短縮

7日（金）安全指導

10日（月）金融教育（3年生）

11日（火）スピーキングテスト（1・2年生）
金融教育（3年生）

12日（水）がん教育（3年生） ※短縮
③④卒業式予行 ⑤カット（全）
避難訓練 職員会議

13日（木）保護者会（1・2年・7組）
⑤⑥カット（全）※短縮

14日（金）救急救命（2年生）

⑤⑥カット（全）

17日（月）生徒会朝礼 午後卒業式準備

⑤⑥カット（全）※短縮

18日（火）第63回卒業式（2・3年生）

19日（水）学年会 ⑤カット（全）※短縮

20日（木）春分の日

21日（金）給食終 ⑤⑥カット

24日（月）①②授業 大掃除

25日（火）修了式 安全指導

職員会議 ※短縮

26日（水）春季休業日始

※短縮は、朝読書なし・簡単清掃の時程となります。

令和6年度 保護者アンケート及び生徒アンケート

【学習面】 ＊〈前年度比〉

生徒

昨年度よりも肯定的意見が増加した項目

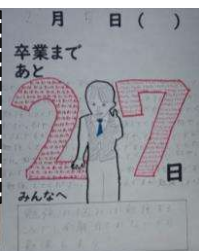
- ②学校の授業は分かりやすい 87.6%〈↑5.1〉
 ③授業に対してすすんで取り組んでいる 89.3%〈↑1.3〉

昨年度より肯定的意見が減少した項目

- ⑥英語の授業で、すすんで友達や先生と、外国語でコミュニケーションを図っている 71.9%〈↓1.3〉
 ⑦1日平均1時間以上家庭学習をしている 49.0%〈↓9.9〉
 ⑧1日平均の読書時間「全くしない」60.0%〈6.3増〉

勉強の悩みは勉強することでしか
 解消されないから勉強しよう！

「令和6年度3年生のことば」から



【生活面等】 ＊〈前年度比〉

生徒

昨年度よりも肯定的意見が増加した項目

- ⑨自分や友達を大切にしている 96.1%〈↑1.0〉
 ⑩思いやりの心をもって行動している 93.7%〈↑1.1〉
 ⑪男女の性別に関係なく仲間と接している 81.0%〈↑3.2〉
 ⑬楽しく学校生活を過ごしている 92.5%〈↑2.5〉

数値は高いけれど、昨年度より肯定的意見が減少した項目

- ⑰「自分の得意なことは何か」「自分に向いていることは何か」について考えている 83.9%〈↓4.3〉
 ⑱自分の将来を考えている 83.9%〈↓3.0〉
 ⑲これまでの自分の生活をよりよくしたい 88.3%〈↓3.3〉

期待する数値よりもかなり低い項目

- ⑳学校で遊んだり体を動かしたりしている 63.0%〈↓3.4〉
 ㉑学校で学んだ食事や栄養についての知識を生活の中で生かしている 67.3%〈↓3.0〉

保護者

昨年度よりも肯定的意見が増加した項目

- ③学校は、お子様が意欲的に学習できるよう、授業を工夫している 61.9%〈↑7.0〉

肯定的意見は増加したがまだまだ課題のある項目

- ④学校は、お子様の学力や学習意欲を向上させるためにタブレットを有効活用している 46.9%〈↑6.0〉
 ⑤学校は、英語の授業でお子様がすすんで外国語でコミュニケーションを図る工夫をしている 49.7%〈↑7.1〉
 ⑥お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思う 40.9%〈↑5.4〉

昨年度より肯定的意見が減少した項目

- ⑦お子様は、家庭で読書をしている 20.8%〈↓2.2〉

3年生作、卒業までのカウントダウン

カレンダー（2/5）から

保護者

昨年度よりも肯定的意見が増加した項目

- ⑨お子様は思いやりの心をもって行動している 93.3%〈↑2.9〉
 ⑩男女の性別関係なく仲間と接している 81.3%〈↑2.9〉

肯定的意見は増加したがまだまだ課題のある項目

- ⑪学校は心の居場所づくりに努めている 67.6%〈↑1.5〉
 ⑬困ったことがあったら相談したい先生がいる 62.3%〈↑1.8〉
 ⑲学校からの進路に関する資料・情報が役に立つ 65.4%〈↑15.4〉

昨年度より肯定的意見が減少した項目

- ⑫お子様は楽しい学校生活を過ごしている 81.8%〈↓3.2〉

期待する数値よりもかなり低い項目

- ⑲学校の体力向上の取組について満足している 63.0%〈↑5.5〉
 ㉔お子様は授業等で学んだ正しい食事の在り方や栄養についての知識を生かしている 55.8%〈↑3.3〉

全体的な課題と来年度の重点

- ❖授業に対する肯定的な意見が増えた背景として、「自らの考えを生かす「学び」の創造」について研究を推進し授業改善を行っていること、そしてタブレットの効果的な活用を実施していることがあると考えています。これからも誰にとっても「分かりやすい」授業を目指していく。
- ◆生徒が家庭学習（授業・塾以外の主体的な学び）をある一定時間以上実施するように、家庭と連携して取り組んでいく。⇒**具体的数値（学年＋1時間以上）⇒自学自習に向けた環境づくり**
- ◆各教科等の学びが、生活の中でどう関わり、どう生かされていくのかなどを示し、「必要感」をもち「自分事」として学びに向かっていくような授業展開を行う。
- ◆「食育」と「体を動かす（遊び・体力向上）」は今年度、生徒の考えを生かした取組（献立コンクールや全校レク等）を実施している。来年度さらにその取組を充実させていく。
- ❖いじめについて、「どんな理由があってもいけないこと」と96.1%の生徒は回答している。しかし「いじめをしないよう気を付けたり、いじめを見つけた時に誰かに相談したり止めたりしている」の回答は85.6%となっている。いじめ防止に向けて、この数値を100に近づけていくためには、道徳の授業や学級活動を中心に「自分事として考える」機会を増やし行動へと結び付けていく。
- ❖いじめと問題行動の未然防止のために、家庭と学校が協働しスマートフォン等インターネットの活用状況等について情報共有し、子どもたちの安全・安心のために大人としての対応策を検討していく。